



新年あけましておめでとぅございませう。
 本年もよろしくお願ひいたします。

梅栄堂社長 中州信治

伝統の香りと、新しい時代の香り

昨年、まだまだ厳しいながらも、景気はやっと回復基調に入り、日銀の「展望レポート」では、今年もこのまま回復基調は続くとの予想が提出されています。ただ、個人消費は厳しく、当面デフレ傾向は止まらないとの予想でございませう。

このような個人消費の落ち込んでいる環境の中で、皆様喜んで頂けるものは「何か？」を日頃から考えておりましたが、そんなさなか、昨年の二月に発売させて頂きましたコーヒートの香りのお線香「残香飛」が、大変なご好評を頂きました。二年程前、知人から聞いた「お仏壇にコーヒートをお供えする人

が多い」という話をヒントに、それから「コーヒートの香りのお線香があれば喜んでもらえるのでは」と考え、研究を始めました。開発の最中でも「お線香にコーヒートの香りは無理では？」と不安になった時もありましたが、せっかく二年近くかけて完成しましたので、年間二万個の目標で発売させて頂きました。ところが発売後すぐ、大変な反響を頂きまして、追加、追加で思わぬヒット商品になりました。珍しいお線香ということでマスコミからも五十件近い取材があり、おかげさまで沢山の方々にご愛用頂くことが出来ました。なかでも嬉しかったのは、今までお線香を使われなかった方が、これを機会に「いい香り」だからと使って頂けるこ

とが多くなったということです。コーヒートのいい香りは、たいてい誰もが好きですし、故人がコーヒート好きならなおさらということなのでしょう。もう一品、明治三十六年に商標登録して以来ご愛用を頂いております「九重香」ですが、今回斬新なデザインのパッケージで、百周年記念商品として発売させて頂きましたが、こちらも大好評頂きました。

今年も、従来通り梅栄堂本来の伝統の香りを大切にしながら、新しい香りのお線香も開発努力してまいるつもりです。今春には、また新しいタイプのお線香の発売を予定しておりますのでご期待頂きますとともに、今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

お店を訪ねて

大宮高島屋

安心して買い物ができる雰囲気を！

二〇〇一年五月、浦和、大宮、与野の三市が合併して誕生した「さいたま市」は、二〇〇三年には全国で十三番目の政令指定都市となりました。中でも大宮駅は、JR京浜東北線、高崎線、宇都宮線、東北新幹線、埼京線、川越線、東武野田線が乗り入れる一大ターミナルで、駅前周辺は県下最大のショッピングゾーンとなっています。今回は、ここ大宮駅東口に建つ、大宮高島屋の仏具売り場を訪ねました。

この仕事に就いてもう十七年になりますが、今回家具とリビングの売り場とも一箱になり、人の流れが随分と変わりました。おかげさまで最近ではこちらの売り場にもたくさんのお客様が来て頂けるようになり、若い世代の方も増えて参りました。最近のお客様は、時代を反映してか、煙の少ないお線香をお望みの方も多

いですが、仏様には煙が供養になりますから、「と申し上げると、ご自宅用はともかく、ご進物の場合は、供養のためにお贈りするのだから」と、納得してお求めになる

方もいらつしゃいます。こちらのご指名買いのお客様も多いのですが、初めてのお客様からご相談を受けたときには、まずお伺いするのはご予算が合わないという理由です。それから「好文字」などは、本堂に入ったときの香り」と申し上げると大抵の方にすぐ分かって頂きます。また、ご自宅用は中身が大切ですから、「バラ詰め」等のお買い得なものも人気がありますね。勿論、ご進物にはパッケージが大切な要素になります。香りのお話で思い出しましたが、お客様がお盆に使ったろうちんをしまわれる時、箱の中に二、三本のお線香と一緒に入れるとおっしゃる方がいらつしゃいました。不思議に思い、理由をお聞きしたところ、「ちようちんにお線

売り場担当 黒澤さん



雑感スケッチ

煙の少ないお線香をお望みの方も多

いですが、仏様には煙が供養になりますから、「と申し上げると、ご自宅用はともかく、ご進物の場合は、供養のためにお贈りするのだから」と、納得してお求めになる

香の香りをつけて仏様に来年また思い出してもらえよう」という事でした。勿論虫除けの効果もあるのですが、なるほどなあと思えました。長年のお客様の中には、この売り場に

人通りの多い東口駅前に建つ、大宮高島屋

